

令和6年度北陸地区スポーツ推進委員研修会 報告書

- 1 期 日 令和6年6月29日(土)・30日(日)
- 2 会 場 1日目<開会式、表彰式、講演、シンポジウム、情報交換会>
・村上市総合文化会館
2日目<実技研修、閉講式>
・【スケートパーク体験】 村上市スケートパーク
・【ボッチャ】 神林総合体育館
・【チャレンジ・ザ・ゲーム】 新発田市カルチャーセンター
・【フラッグフットボール】 胎内レクホール
- 3 主 催 公益社団法人全国スポーツ推進委員連合
富山県スポーツ推進委員協議会 石川県スポーツ推進委員協議会
福井県スポーツ推進委員協議会 新潟県スポーツ推進委員協議会
- 4 主 管 北陸地区スポーツ推進委員研修会新潟県実行委員会
- 5 後 援 スポーツ庁 富山県 石川県 福井県
新潟県 村上市 新発田市 胎内市 村上市教育委員会 胎内市教育委員会
- 6 大会テーマ 「がんばろう！北陸 ～つながろう 生涯スポーツで 高めよう スポーツの価値を～」

7 日 程

【6月29日(土)】

(1) 開会式 13:00~13:30

- ①開会宣言 北陸地区スポーツ推進委員協議会新潟県実行委員会 副会長 金子 正美
- ②あいさつ 北陸地区スポーツ推進委員協議会
北陸地区スポーツ推進委員研修会新潟県実行委員会 会長 水戸部 照夫
公益社団法人全国スポーツ推進委員連合 会長 阿達 雅志
- ③祝 辞 新潟県観光文化スポーツ部 部長 関根 慶一
- ④歓迎のことば 村上市副市長 大滝 敏文
- ⑤登壇者紹介



(2) 表彰式 13:30~14:00

①北陸地区スポーツ推進委員協議会表彰(富山県受賞者9名)

清水 美紀(魚津市) 三橋 樹(南砺市) 齋藤 充孝(砺波市) 島倉 康浩(射水市)

丸山 貴美 (小矢部市) 堀田 英暢 (上市町) 澤井 由香 (氷見市) 森 洋一 (富山市)
野村麻理子 (南砺市)

②中ブロックスポーツ推進委員協議会表彰 (富山県受賞者6名)

明野 久美 (射水市) 吉江 智晴 (砺波市) 西川 常雄 (上市町) 室山眞喜子 (滑川市)
島津 豊 (魚津市) 中谷 京子 (黒部市)

(3) 講演 14:00~15:00

講師 若菜 翔哉 氏 (新潟リハビリテーション大学地域連携推進室長)

演題 「人生100年時代 健康寿命延命における、スポーツ、栄養、社会参加の
必要性について ~フレイル予防~」

専門分野である介護予防、地域理学療法、疫学の知識と理学療法士等の資格を持っておられる講師は、転倒予防教室「転ばぬ筋力アップと認知症予防教室」の企画運営、講師をつとめておられることと村上市と関川村で実施している介護予防事業や他市町村からの講演等について、データをもとに講演いただいた。



(4) シンポジウム 15:00~16:30

テーマ 「人生100年時代を支援するスポーツ推進委員」
~生涯にわたってスポーツを楽しむ活動事例~

コーディネーター 若菜 翔哉 氏 (新潟リハビリテーション大学地域連携推進室長)

シンポジスト 竹 律隠 氏 (富山県氷見市) 「地域の特色を活かした健康づくり~元気な比見 スポーツの力で~」

山崎 文裕 氏 (石川県小松市) 「災害からの復活 ~スポーツを通じた心身の復興~」

宮本 康博 氏 (福井県池田町) 「池田町スポーツ推進委員会の活動紹介」

桑原 秀彦 氏 (新潟県十日町市) 「豪雪地域で楽しむスポーツ活動事例」

どの市町村でも活発な活動がなされているが、各関係機関と情報交換をしながら様々な事業を進めていくことが必要不可欠である。特に参加人数が多いイベントや大規模な大会等を開催するときは、横のつながりを大切に、連携を深めながら行っていくことが大切である。その結果、委員としての資質向上や、市のスポーツ振興につながっていくと考える。



(5) 情報交流会 (各宿泊施設) 18:30~20:30

他県の方々と大いに交流を図ることができた。

【6月30日（日）】

実技研修 9：30～11：30

【スケートパーク体験】 村上市スケートパーク



スケートボードにチャレンジするだけでなく、ボルダリング（壁に固定されたホールドを、ロープを使わず手や足をかけながらよじ登る）、スラックライン（上下に揺れるラインの上を移動する）、モルックの体験をグループに分かれて行った。

【ボッチャ】 神林総合体育館



ボッチャの普及と交流を目的として行うため、原則として日本ボッチャ協会競技規則に準じて行うが、競技規則を緩和して行った。

【チャレンジ・ザ・ゲーム】 新発田市カルチャーセンター



ペア・リング・キャッチ、チームふらば～るボール、キャッチング・ザ・スティックをそれぞれグループに分かれて、行った。

【フラッグフットボール】 胎内レクホール



フラッグフットボール（アメリカンフットボールから接触をなくした究極の団体スポーツ）は、攻撃／守備に分かれ、タックルの代わりに腰につけているフラッグを取ればタックルとなり、攻撃が止まる陣取り合戦のような種目を、グループに分かれて行った。